

東京2020オリンピック競技大会の追加種目決定経緯及び今後の予定

平成26年	12月	8日	IOC総会で「オリンピックアジェンダ2020」採択 開催都市の組織委員会が当該大会での追加種目を提案できる 制度を創設
平成27年	2月	9日	組織委員会が東京2020種目追加検討会議を設置 有識者7名により構成
	5月	8日	組織委員会がIOC承認国際競技団体(33団体)を対象 として提案募集開始 3つの主要原則(若者へのアピール・日本での盛り上がり・公平性) を盛り込んだ応募要項を発表
	6月	8日	IOCが評価項目(5テーマ・35項目)を発表
	6月	8日	応募期限(26団体が応募)
	6月	22日	組織委員会がヒアリング対象団体(8団体)を発表
	8月	1日	IOCが追加種目の選手数を500人以内とすることを 提示
	8月	7・8日	東京2020種目追加検討会議においてヒアリング実施
	9月	28日	東京2020種目追加検討会議において提案種目案を決定 組織委員会理事会において提案種目を決定 (5競技18種目) IOCへ追加種目を提案
平成28年	3月	18日	IOCプログラム委員会※で審議 5競技18種目を一括してIOC理事会に推薦することを決定 ※オリンピックの実施競技や種目を審議し、IOC理事会に提案を行う IOC内部委員会
	6月	1日	IOC理事会で審議 5競技18種目の一括提案を支持
	7月	22日	東京2020種目追加検討会議を実施 会場予定地について検討
	7月	25日	組織委員会理事会で会場予定地※について決議 ※会場予定地の選定にあたっての基本的考え方 ・アスリートに快適な環境を提供できること ・大会を確実に運営できること など
	8月	3日	IOC総会で追加種目の採択
	12月		IOC理事会で会場決定予定